

1. 理事長あいさつ

日本創傷治癒学会 – これからの展望とお願い

日本創傷治癒学会 理事長 北島政樹

創傷治癒研究会は会員の総意に基づき、第30回研究会（平成12年12月、当番世話人、日本医科大学第1外科 恩田昌彦教授）から学会に昇格し、名称も日本創傷治癒学会に改称されました。新たな門出に際し、会員の皆様のご理解と暖かいご支援をいただきましたことを心より御礼申し上げます。

学会昇格にともない、新しい会則が制定され、運営体制は、理事・評議員制度に移行いたしました。英文名は、Japanese Society for Wound Healing, JSWHを継承いたします。学会化にあたり将来検討委員会が精力的に開催され、11名の理事、2名の監事の選出が行われ、円滑かつ発展的な学会運営にむけて関連委員会の設置などが行われました。

創傷治癒と申しますと外傷や手術による損傷を治すことと思われがちですが、創傷治癒は個体への内外からのストレスによる損傷に対して、それを修復していく巧妙な生体反応であり、生物の恒常性維持にかかわる重要なテーマと考えられます。医学の分野別では外科、整形外科、形成外科、皮膚科、歯科口腔外科など外科系臨床医のみならず、消化器や呼吸・循環器内科さらには、基礎の解剖学や病理学、生化学を専門とされる先生方も多数会員として本学会に参加しておられます。

近年、Tissue Engineering（再生医学）を応用した新しい分野が発展しつつあります。損傷により失われた機能に対して、自己の幹細胞を刺激増殖させ利用することはもはや夢ではありません。褥瘡に対する創傷管理も数々の基礎研究の積み重ねから、細胞増殖因子を臨床応用する試みが行われています。これらはいずれも患者さんのquality of life（生活の質）を改善していくことに大いに役立っております。

創傷治癒研究はこれまでも増して、基礎から臨床に幅広く根をおろした分野として発展していくものと確信しております。日本創傷治癒学会がそれらの中心的役割の一翼を担うためには、理工学系の分野の先生方や欧米のWound Ostomy and Continence Nurses, WOCNにみられるような看護婦さんをはじめとするコメディカルの方々の協力も当然お願いしていかなばなりません。米国のThe Wound Healing Society, WHSや欧州のThe European Tissue Repair Society, ETRS、豪州のThe Australian Wound Management Association, AWMAとの連携をさらに強化、推進しながら、熱意に満ちあふれた国際性のある先生方とともに、我が国の創傷治癒研究を世界に発信していきたいと考えております。

お陰様でWHS, ETRS, AWMAと共同で発行しているWound Repair and Regeneration, WRRは本号で第9巻を数え、今回から会員の皆様に学会誌としてお届けすることになりました。すでにCurrent ContentsやPubMedなどに掲載されておりますが、近い将来インパクトファクターがつきます。WRRのさらなる充実を基盤に、会員どうしのコミュニケーションにお役に立てればと望んでいます。

末筆ながら、会員の皆様のご発展をお祈り申し上げますとともに、これまでと変わらない本学会への暖かいご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2. 役員名簿

名誉会員

阿部令彦、阿部力哉、石引久彌、磯野可一、稲山誠一、井口 潔、遠藤光夫、掛川暉夫、古味信彦、櫻井健司、塩谷信幸、田中 隆、田辺達三、鶴藤 丞、林 四郎、藤城保男、三島好雄、森 昌造（18名）

特別会員

岩崎寛治、大浦武彦、金澤暁太郎、隅越幸男、中村輝久、細田泰弘、前田昌純、宮内好正、毛利喜久男、吉崎 聡、渡辺洋望（11名）

理事（＊理事長）

石井壽晴、内田雄三、岡田 正、岡田保典、小野一郎、恩田昌彦、北島政樹＊、黒柳能光、中島龍夫、中村紀夫、野崎幹弘（11名）

監事

杉町圭蔵、田井良明（2名）

評議員

相川直樹、青木照明、浅野伍朗、穴澤貞夫、石井壽晴、市川英幸、上尾裕昭、内田雄三、大谷吉秀、大野真司、岡田 正、岡田保典、落合武徳、小野一郎、恩田昌彦、加藤紘之、上石 弘、北島政樹、北野正剛、窪地 淳、黒柳能光、小平 進、斎藤和好、斉藤聖二、嶋田晃一郎、嶋田 紘、白水雄、杉立彰夫、杉町圭蔵、鈴木邦夫、炭山嘉伸、田井良明、高野邦夫、徳永 昭、中島龍夫、中野博重、中村紀夫、中山一誠、西岡 清、野崎幹弘、秦 維郎、畠山勝義、平田公一、船曳孝彦、松野正紀、丸山圭一、丸山 優、三輪晃一（48名）

3. 日本創傷治癒学会開催記録（第1回から第30回）

会 長					特別講演・依頼講演
第1回	昭46.7.26	東京	鈴木安恒	(慶大耳鼻科)	
第2回	昭47.12.2	東京	鈴木安恒	(慶大耳鼻科)	
第3回	昭48.12.15	東京	鈴木安恒	(慶大耳鼻科)	
第4回	昭49.12.7	東京	阿部令彦	(慶大外科)	毛利喜久男 (関西医大外科)
第5回	昭50.12.13	東京	阿部令彦	(慶大外科)	渡辺洋望 (東京医大病理)
第6回	昭51.12.11	東京	阿部令彦	(慶大外科)	秋山太一郎 (日本医用高分子材料研究所)
第7回	昭52.12.3	東京	阿部令彦	(慶大外科)	三方淳男 (慶大病理)
第8回	昭53.12.16	東京	長尾房大	(慈恵医大第二外科)	鶴藤 丞 (東北大薬学)
第9回	昭54.12.15	東京	林 四郎	(信大第一外科)	長谷川正光 (国立循環器病センター脈管生理)
第10回	昭55.12.13	東京	藤城保男	(東京電力病院外科)	槇 哲夫 (東北労災病院) 林 四郎 (信大第一外科) 岡崎 勲 (産業医大内科)
第11回	昭56.12.12	東京	森 昌造 三島好雄	(岩手医大第一外科) (東大第一外科)	岡田 正 (阪大第一外科)
第12回	昭57.12.11	福岡	井口 潔	(九大第二外科)	渥美和彦 (東大医用電子研究施設)
第13回	昭58.12.10	東京	遠藤光夫	(東京女子医大消化器病センター外科)	平山 峻 (東京女子医大形成外科)
第14回	昭59.12.1	大阪	岡田 正	(阪大第一外科)	Thomas K. Hunt (カリフォルニア大SF外科)
第15回	昭60.12.7	東京	三島好雄	(東京医科歯科大第二外科)	永井 裕 (東京医歯大難治疾患研究所)
第16回	昭61.10.4	札幌	田辺達三	(北大第二外科)	大浦武彦 (北大形成外科)
第17回	昭62.11.21	福島	阿部力哉	(福島県立医大第二外科)	田辺達三 (北大第二外科)
第18回	昭63.12.3	札幌	櫻井健司	(慈恵医大第一外科)	塩谷信幸 (北里大形成外科)
第19回	平元.12.2	久留米	掛川暉夫	(久留米大第一外科)	
第20回	平2.12.1	徳島	古味信彦	(徳島大第一外科)	市原 明 (徳島大酵素科学センター)
第21回	平3.11.30	名古屋	中島龍夫	(藤田保健衛生大形成外科)	清水慶彦 (京大生体医療工学研究センター)
第22回	平4.12.5	横浜	塩谷信幸	(北里大形成外科)	Frederick Grinnell (テキサス大)
第23回	平5.12.4	山形	鷺尾正彦	(山形大第二外科)	Gere S. diZerega (南カリフォルニア大)
第24回	平6.11.12	千葉	磯野可一	(千葉大第二外科)	新海 滋 (千葉大皮膚科)
第25回	平7.12.2	東京	田中 隆	(日大第三外科)	野崎幹弘 (東京女子医大形成外科)
第26回	平8.12.7	福岡	杉町圭蔵	(九大第二外科)	上尾裕昭 (大分県立病院外科)
第27回	平9.12.6	東京	石引久彌	(国立埼玉病院外科)	
第28回	平10.12.5	大分	内田雄三	(大分医大第二外科)	David J. Smith (ミシガン大メディカルセンター)
第29回	平11.12.4	東京	中村紀夫	(慈恵医大柏病院救急診療部)	矢永博子 (久留米大形成外科) William J. Lindblad (ウェインステート大)
第30回	平12.12.8,9	東京	恩田昌彦	(日本医大第一外科)	Thomas K. Hunt (カリフォルニア大) Adrian Barbul (ジョンズホプキンス大)

					黒川高秀（昭和大、日本医大）
第31回	平13.12.6,7	東京	野崎幹弘	（東京女子医大形成外科）	岡野光夫 （東京女子医大先端生命医科学研究所） William J. Lindblad （ウェインステート大）

5.研究助成金受賞者一覧

第1回（昭和58年、第13回研究会）

三吉 博（慶大外科）

「吸入酸素濃度変化時の胃管組織酸素分圧の変動に関する実験的検討」

津久井敏郎（信州大第一外科）

「胃壁における創傷治癒過程とZn、Cuの関与」

第2回

根津理一郎（阪大第一外科）

「高カロリー輸液時における亜鉛代謝」

吉村陽子（藤田保健衛生大形成外科）

「低出力半導体レーザーを応用した皮弁生着率向上の試み」

第3回

菊池功次（慶大胸部外科）

「気管の再手術における問題点－気管吻合部における軟骨のcuttingの影響－」

南雲吉則（慈恵医大第一外科）

「表皮直下に存在する血管網の証明と、その創傷治癒にかかわる形態学的変化の観察」

第4回

杉立彰夫（国立大阪病院外科）

「“G・T・XIII”による創傷治癒促進のMechanism」

鈴木省悟（北大第二外科）

「発育動物に対する吸収性縫合糸の応用－組織学的、物性的変化の検討－」

第5回

南雲吉則（慈恵医大第一外科）

「糖尿病性壊疽における皮膚および皮下の動静脈吻合の形態とその意義」

上田政和（慶大外科）

「熱傷創水疱中に含まれる線維芽細胞に対する増殖因子について」

第6回

橋爪慶人（近畿大形成外科）

「微小血管外科領域での静脈移植における内皮細胞の再生過程について」

酒井憲孝（杏林大第一外科）

「胃虚血モデルにおける潰瘍形成とその治癒経過－CoQ10アニオンラジカルとの関係」

第7回

長島 敦（慶大外科）

「人工食道実用化のための細胞培養法を用いた上皮化に関する実験的研究」

吉田祥吾（久留米大第一外科）

「創傷治癒とヒスタミン－ことにCompound48/80と外因性ヒスタミンの効果について－」

第8回

安藤 勤（徳島大第一外科）

「ラット肝臓中の肝細胞増殖因子（HGF）の生理学的検討」

諸星保憲（東北大第二外科）

「自家内皮細胞被覆人工血管の作製と移植後治癒状況の検討」

第9回

岡本泰岳（藤田保健衛生大形成外科）

「プロスタグランジンE1局所持続動脈内注入時の皮弁内微小循環の変化」

岡田正樹（自治医大消化器外科）

「創傷治癒における腸内floraの影響について」

第10回

朝倉伸司（自治医大血液研）

「新しい細胞接着阻害因子の同定：New function of high molecular weight kininogen」

佐藤道夫（慶大外科）

「ハイブリッド型人工食道内腔上皮化のための実験的研究」

第11回

副島一孝（女子医大形成外科）

「ラット血管内皮細胞の培養と移植」

木口英子（東京医大八王子病理）

「ラット腹部の島状皮弁を用いた創傷治癒モデルの血管再生について 創傷治癒過程の血管新生における増殖因子の意義」

第12回

鈴木茂彦（京大形成外科）

「皮弁遠位部における生死決定メカニズムに関する決定」

石渡俊行（日本医大第二病理）

「血管内皮細胞の増殖制御と細胞外基質の関連性」

第13回

井上正幸（福島県立医大皮膚科）

「熱傷水疱液中に遊出するサイトカインによるヒト線維芽細胞の増殖メカニズム」

木山輝郎（日本医大第一外科）

「胃消化性潰瘍の修復過程におけるストレス蛋白（HSP70）の発現」

第14回

石村 健（香川医大第一外科）

「高エンドトキシン血症が腸管吻合部創傷治癒過程に及ぼす影響に関する実験的検討」

高野邦夫（山梨医大第二外科）

「長期ステロイド治療による創傷治癒障害とサイトカイン」

第15回

桜井洋一（藤田保健衛生大第三外科）

「外科重症病態下におけるinsulin、IGF-I投与の蛋白代謝に関する効果」

山崎国司（久留米大第一外科）

「創傷治癒における Nitric Oxide (NO) – inducible NO synthase(iNOS) 遺伝子欠損マウスにおける創傷治癒過程」

第16回

赤坂喜清（東邦大第二病理）

「隆起性瘢痕における線維芽細胞アポトーシスとcaspaseの発現性」

橋本 正（京都大形成外科）

「アルギン酸を用いた人工神経の開発と末梢神経再生モデルでの評価」

第17回

新沢博子（北里大形成外科）

「肉芽組織形成過程におけるVEGFの経時的推移」

山口真彦（昭和大藤が丘病院外科）

「腸管大量切除に対するインスリン様成長因子（IGF-1）の効果」

第31回日本創傷治癒学会のご案内(第1次)

第31回日本創傷治癒学会 会長 野崎幹弘（東京女子医科大学形成外科教授）

第31回日本創傷治癒学会を下記の通り開催いたします。会員の皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。

1. 会 期：平成13年12月6日（木）～7日（金）
（6日に理事会、評議員会を予定しております。）
2. 会 場：京王プラザホテル
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 T E L：03-3344-0111
3. 演題募集要項：詳細については次号以降の会告でお知らせします。
4. 連絡先：
〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学形成外科学教室（事務局長 菊池 雄二）
T E L：03-3353-8111（ex.31424） F A X：03-3225-0940
e-mail：keisei@prs.twmu.ac.jp